



長野県議会議員
自由民主党県議団
団長 本郷一彦

ほんごう一彦 2015年

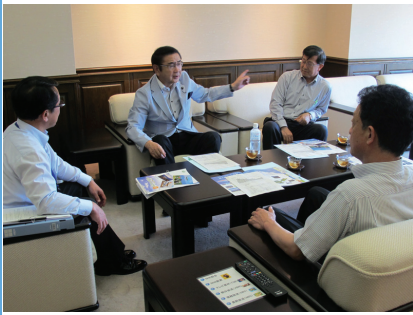
県政を通して松本市の活性化をめざす!

松本市の主要課題と対応策



1. 商店街の活性化

商工会議所における新たな広域専門指導事業への助成、衰微傾向にある商店街の活性化と商業基盤の整備を目指し、「なわコレ」、「街コン」、「クラフトのまち・まつもと」のPR事業、若者や女性の商店街への取り込み等、集客につながる商店街振興事業を元気づくり支援金等で助成していますが、今後とも更に拡充を目指します。



2. 大型店問題

平成28年秋にイオンモール東松本が出店を新たなる予定しており、住民の意見を踏まえながら、適正規模を基本に市と小売店等地元関係者が協議を進めていく中で、極めて大切な課題と認識し、要請に応じて対応して参ります。



3. 中小企業支援対策

低利・長期の各種融資制度を紹介・斡旋し、管内事業者の資金需要に対応しております。創業者には、「創業支援資金」の斡旋や「創業等応援減税」により支援して参ります。



4. 健康医療産業の創出・誘致

松本地域には、医療機器製造業と地元大学との開発連携体制があり、これに対しテクノ財団メディカル産業支援センターは、企業へ各種セミナーや支援施策等を情報提供しています。県テクノ財団の開発支援や、知識集約型の研究所や工場の集積を目指している新松本工業団地への誘致活動もあわせ、医療関係者とも連携しヘルスバレー構想との融合性も考慮し実現を目指します。



5. 農業の再生と新たなる振興策

(1) 意欲的な担い手の確保・育成策、(2) 人・農地プランの実現、(3) 6次産業化、(4) 地産地消など、また所得向上では、(1) 地域に応じた農地集約策、(2) 中山間地域での農産物の高付加価値化、(3) 反収向上策、(4) 単価向上(販売)策、(5) 生産費抑制策、(6) 流通経費抑制策などを総合的に進めて参ります。



6. 信州まつもとと空港の活性化

関係機関と連携を密にして、札幌・福岡線の安定的な運航を確保しつつ、大阪線の定期便化を含む増便及び複便化等の路線拡充を図るとともに、国際及び国内チャーター便の誘致に積極的に取り組むことにより、さらなる利用率の向上と将来国際空港の実現に向けての新しい段階を目指して参ります。



7. 医療・介護・福祉施設の充実

地域包括ケアシステムを軸に、医療・介護の地域体制の構築を図ります。松本市では「児童館・児童センター」の整備が課題となっており、県は「社会福祉施設等整備事業補助金」により支援を行って参ります。

8. 松本山雅のサポート・スポーツ施設の充実

J1への昇格に伴い、アルウィンの整備(スタンド屋根の拡張・トイレ改修)の早期実現や、長寿命化対策事業による改修等に対応するとともにスポーツ施設の充実に努めます。

9. セイジ・オザワ松本フェスティバルの充実

昨年度、県負担金を増額して、スクリーン・コンサート実施箇所の拡充や中学生・高校生等に対する楽器の技術指導講座の開設など、世界最高水準の音楽芸術を県民に提供する機会をなお充実させて参りましたが、一層の県負担金の増額に向けて対応致します。

10. 防災体制の強化

県では、平成26年度末を目途に、糸魚川-静岡構造線断層帯に起因する内陸直下型地震及び火山噴火災害対応など新たな災害被害想定を策定中ではありますが、松本地域の被害を想定した防災訓練の実施など、県災対本部松本地方部の防災体制の整備に努めるとともに、松本市等との一層の連携強化を図る予定です。